

# いま経済学と経済学教育に必要と されているものはなにか

塩沢由典

# 概要

---

## 1. 中等課程での経済学

- ◆ 報告要旨の最初の部分(1.高校までの経済学教育)

## 2. 経済学部での教育

- ◆ 「競合するパラダイムという視点」『経済学と経済教育の未来』(桜井書店、2015)第4章

## 3. 大学院教育

- ◆ 報告要旨の2/3

## 4. まとめ

# 1. 高校までの経済学教育(1)

---

## ● 経済知識と経済学とを分けて考える。

- じっさいに教えられているのはほとんど経済に関する知識
- 経済学は「市場経済の機能と限界」の一部のみ
- 「政治経済」: よき市民の教養

## ● 新井報告:

- 「政治・経済」担当教員の養成問題
- 教員養成系大学で養成すべきか。
- 経済学部・大学院教育にはない役割・可能性？

# 1. 高校までの経済学教育(2)

## ● スタンダード⑧「市場価格」

- 価格がインセンティブとして資源配分の重要な役割をはたす。(新井、経セミ論文)
- 経済学のイロハ?

## ● 経済学とはなにか

- 「希少性と選択」が経済学の核心か
- L. Robbinsの誤った路線(後出)
- 経済学は行動経済学の集成ではない。

# 経済学は行動科学か

## ● L. Robbins以来の誤り

- 希少資源の有効利用(個人・組織には希少性はあっても、社会にとって希少性はない。)

## ● 経済は、個人(家計・企業)行動の総体として存在するが、経済学はそれらの全体が作りだす関係を研究するもの

- 経済学と経営学
- 経済学は家政学/官房学から生まれたが、個人・国家の「経営学」ではない。

# 高校生にとっての経済学

---

## ● 大多数にとって

- 公民教育(よき市民としての教養)

## ● 少数の知的欲求にあふれた学生

- これまでの常識を打ち破る新しい知見(例: グローバル経済史 / ヨーロッパ中心史観の否定)
- 経済理論 教えるなら深く
  - ◆ 広い知識・経験を必要としないもの
  - ◆ 例: Debreu (1959) Theory of value
  - ◆ 例: Shiozawa (2015) International Trade Theory and Exotic algebra

参考:

## フレンケル『数学の大統一に挑む』

---

- ロシア生まれのユダヤ系数学者
- モスクワ大学に入れず
  - 数学・物理学部からのユダヤ系排斥
  - 石油ガス研究所(教育コース)
- なぜ優れた数学者になれたか
  - 高校生時代からの「個人教育」
  - 大学一年 A.N.ヴァルチェンコ「きみは数学の問題を解いてみたくなはないかね」=>ブレイド群
  - フックス「ユダヤ人大学」

## 2. 経済学部での経済学教育

---

### ● 基本的矛盾

- 経済学を職業上に生かせる人数をはるかに超える学生数
- 学部教育に企業が期待していないから、成立。

### ● 大多数の学生

- すこし詳しい公民教育
- 市民の教養としての経済学の意義
  - ◆ 増税に反射的に反応する、減税日本

# 5～10%の学生に期待したいこと

## ●経済学の現状を展望・理解する。

- 新古典派の経済理論が分かるだけでは不十分
- なぜ異なる学説が並存し続けるのか
  - ◆その深い理由を理解する。
- 現在の体系の「現状」ではなく「限界としてもつであらう限界」(市川惇信)

## ●経済を見る見方の多様性

- 仕事で直面した問題への多様な接近法の獲得
- ブレークスルーを引き起こす能力の養成

# 学生に押し付けてはならないこと

## ● 大多数の学生に望めること

- ミクロ経済学をきちんと理解できるか
- 黒板で描ける範囲の教育でよいか(1財モデル・2財モデル)
- 日本には100を超える企業と数千万以上の商品がある。
- 表面的教育は、教師の自己満足か自己正当化

## ● 経済史、経済事件(大不況、リーマンなど)、深い事例研究、制度の歴史と経験

# 3. 大学院における経済学教育

## ● 日本社会のゆがみ

- 大学院教育: いまだ研究者養成コースが主
- 社会(企業、民間研究所): 大学院教育の必要性を理解していない。
  - ◆ 大阪市立大学大学院創造都市研究科(2003年設立)
  - ◆ 設立準備委員長、初代研究科長
  - ◆ 典型的対応: 「英語教育をしてくれ」

## ● 日本の大学院教育のためか

- P社: 総数70人を米MBAへ(半分は「なかずどばず」、半分は「退職」)
- 生かすこともできず、生かそうともしていない。

# 日本経済 停滞の4半世紀

## ●成熟した経済のむずかしさ

### ■少子高齢化(社会設計の問題)

- ◆日本の官僚制: 基本的に欧米の制度輸入
- ◆世界で始めて日本が直面する課題に答えが出せない。
- ◆総需要の構成を変える必要>総量のみを増やそうとしている。

### ■ICT革命に乗り遅れた。

- ◆イノベーション/ブレークスルーを担う人材の不足

### ■消費飽和経済 新商品・新サービス

# イノベーションとブレークスルー

---

## ● イノベーション

- プロダクト・イノベーション vs. プロセス・イノベーション
- システム・イノベーション=ブレークスルー

## ● ブレークスルー

- 現在の体系のインクリメンタルな改善・改良では得られない飛躍
- 学問・技術・企業にも必要

## ● 日本に欠けた課題

- ブレークスルー型人材育成

# 「現在の体系の限界が見える」

- 市川惇信(1996)『ブレークスルーのために』  
オーム社, pp.85-86.

## ● ブレークスルーを生み出す研究者

1. 広い分野について現在の限界を含めて見通しを持っている。
2. 他の分野の研究者と互いの分野について意見情報交換ができる。
3. 解決したときに大きな意義をもつ問題を発見できる。

# 経済学の特異な現状

## ●社会学vs.経済学

- 社会学 主題設定の争い
- 経済学 理論体系の争い(神々の争い)

## ●競合するパラダイムの並存

- 学問が遅れているためか
- 素粒子物理学の30年間(ヒモ理論以降、実験にかかる仮説がでず、停滞)
- 人類の「知の様相」としては注目すべきこと

## ●ブレークスルー型人材のモデルケース

# 経済学の学問状況

## ● 主流と先端

- 米国：海水と淡水、New Classical E.& New Keynesian E. ノーベル経済学賞に見る多様性

## ● 異端(Cf. Heterodox Economics News)

- Post Keynesian E. (Fundamentalist, Kalecki, Sraffa, Davidson)
  - 進化経済学(制度派、シュンペータ、Nelson)
- マルクス経済学(正統派、宇野派、市民社会派、URPE、...)
- レギュレーション理論 ■ 進化社会科学(Bowles、Gintis)

## ● 内部で争っている意義？

- 近いもの同士の争いに傾き勝ち。
- 主流派に代替する意気込みが必要。

# 主流の経済学内に留まることの危険

---

- Paul Krugman (in his Lecture at LSE): Most macroeconomics of the past 30 years were “spectacularly useless at best, and positively harmful at worst”.
- Keynes General Theory Chap. 24 § V.  
apart from this contemporary mood, the ideas of economists and political philosophers, both when they are right and when they are wrong, are more powerful than is commonly understood. Indeed the world is ruled by little else.

# 時期は熟している。

---

## ● 主流派

- 政策面での失敗(リーマン・ショック、不平等)
- 理論面(Rational ex. -> DSGEに対する反省)

## ● 社会の反応

- Pekkty現象、Occupy Wall St.

## ● 学生達の反応

- Rethinking economics運動(2012以降30カ国)
- まだ核となるものを見出していない。

# 大学院教育の意義

---

- 人類最高の到達点にも限界がある。
- 大学院(博士課程)
  - それを突破しようとする努力を強いられる場
  - このような場は、他には求めがたい。
- 深い理論化と他領域との対話
  - この経験があらゆる状況でのブレークスルーを用意する。
  - 日本社会にいま必要とされているもの

# 新しい動きはある。

---

- Real-World Economics Review / WEA
  - Student groups working for the reform of economics education 27 countries, 72 groups
- Student Initiative for Pluralism in Economics
- Rethinking Economics



IIFE, Tübingen, 2014

## Rethinking Economics

*We are an international network of rethinkers coming together to demystify, diversify, and invigorate economics.*

<http://www.rethinkeconomics.org/>

## 4.まとめ

---

- 経済学教育の問題は、学校(大学を含む)内に留まらない。
- 社会の理解を変えなければ解決しない問題がある。
- 企業経営者・(中央・地方)政府幹部の「教育」が必要